

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区堺町2-2-18

団体名 株式会社福岡銀行北九州本部

代表者 常務執行役員北九州本部長 藤野 啓介

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃふくおかぎんこう きたきゅうしゅうほんぶ	
団体名	株式会社福岡銀行 北九州本部	
(ふりがな)	じょうむしっこうやくいんきたきゅうしゅうほんぶちょう ふじの けいすけ	
代表者氏名	常務執行役員北九州本部長 藤野 啓介	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 堺町2-2-18
	主たる事業所	福岡市中央区天神二丁目13番1号
事業概要	銀行業	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	金融業、保険業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.fukuokabank.co.jp/	







連絡先

担当部署	株式会社福岡銀行 北九州本部
担当者	鈴木 久司
電話番号	093-533-8030
メールアドレス	suzuki.h@fukuokabank.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組	
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3	ゴール13	環境(1)②
							ターゲット	具体的な取組
					・各部店単位でのエネルギー消費量の管理など「エコ・アクション」推進 ・太陽光発電やATMコーナへのLED照明の採用など、「エコオフィス化」推進 ・営業車向けのエコカー導入 ・クールビズ・ウォームビズの推進			
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3	ゴール12	環境(2)②
							ターゲット	具体的な取組
					・環境方針を制定し、環境への負荷軽減に努めている ・紙資源、空き缶、ペットボトル等、再資源化可能な廃棄物分別の徹底 ・紙のリサイクル率の測定			
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3	ゴール12	
							ターゲット	具体的な取組
					・紙資源調達において、再生紙、環境配慮型用紙を使用(購入) ・市内事業者(取引先等)を優先して調達			
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5	ゴール8	経済(2)①
							ターゲット	具体的な取組
					・九州大学と共同し、企業のSDGsの取組を指標化する子会社「Sustainable Scale」を設立。 SDGs/ESG評価ツール「Sustainable Scale Index」を九州大学と共同開発 ・ファンド投資による地域企業の成長の後押しを目的とし「ふくおかベンチャービジネスパートナーズ」を設立。他にも「x-tech match up」(オンライン商談会)を開催するなど地域企業のマッチングなども実施 ・行員のSDGs知識向上を目的とし、社内各種研修会にてSDGsの講義を追加。			
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3	ゴール9	経済(4)①
							ターゲット	具体的な取組
					・SDGs私募債の募集 ・九州大学とSDGs/ESGスコアリングツール「Sustainable Scale Index」を共同開発 ・「デジタル化支援コンサルティング」開始 ・LGBTに対応した住宅ローンの取組開始 ・SDGs外債定期預金(米ドル)の取扱開始 ・在留外国人専用後払いチャージ機能付Visaプリペイドカード「YOLO Card」提供開始			
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8	ゴール8	社会(2)①
							ターゲット	具体的な取組
					・最終退行時刻の設定(営業場18:30、本部20:00)や早帰り日、早帰り週間設定により長時間労働を抑制 ・パソコンログにより労働時間を正確に把握 ・在宅勤務、フレックスタイム制、企画業務型裁量労働制など、柔軟な勤務体制を導入。			
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2	ゴール8	社会(1)③
							ターゲット	具体的な取組
					・企業内保育所運営。 ・各種再立支援制度を導入。 (産前産後休暇、育児休業、介護休業、ジョブリターン等々) ・復職支援プログラム実施。 ・障害者を採用し、特性や経験が活かせる職場環境を整備。			
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マニエティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8		ゴール8	社会(2)①
							ターゲット	具体的な取組
					・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知。 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置。 ・ハラスメントについての社内研修を実施。			
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					ゴール	指標
				3.4	8.8		ゴール8	社会(3)①
							ターゲット	具体的な取組
					・定期的に健康診断やストレスチェックを実施。 ・健康診断やストレスチェックに問題がある者、希望者、長時間労働者に対して産業医が面談を実施。 ・人間ドック費用補助を実施。 ・長期休職後の産業医による職場復帰支援を実施。			
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17	ゴール8	社会(2)①
							ターゲット	具体的な取組
					・業務別、階層別研修を実施。 ・ライセンス取得奨励金、外部スクール費用補助金を支給。 ・1on1ミーティングを活用した成長支援。 ・大学生、大学院生、専門学校生向けに銀行部門とデジタル部門を中心にインターンシップ参加者を募集。			
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5			ゴール16	社会(2)①
							ターゲット	具体的な取組
					・取締役会の下部組織として、「コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス態勢、AML(FT)管理態勢、顧客保護等管理態勢の評価・チェックを定期的実施 ・反社会的勢力の対応所管部署を定めるとともに、警察、弁護士等外部専門機関とも連携。また、具体的な規程を整備するとともに従業員向け研修を定期的実施 ・組織として贈収賄・汚職を許容しない考え方や対応を「コンプライアンス・マニュアル」に明文化し役職員へ周知することで、贈収賄・汚職を未然防止			
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1	ゴール12	社会(4)③
							ターゲット	具体的な取組
					・サステナビリティ経営を進めるにあたり、推進施策の進捗状況や、課題の共有、対応策の協議等、グループ経営会議の枠組みの中で「サステナビリティ推進会議」として原則半期に1回以上実施しその内容を取締役会に報告。また、サステナビリティ推進会議の下位の会議体として「サステナビリティ推進協議会」を設置。具体的な施策の検討などを実務者レベルで月1回開催 ・統合報告書等によりサステナビリティの取組みを開示 ・外部講師によるSDGs研修の実施			

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年12月24日
 団体名 株式会社福岡銀行北九州本部

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

(グループサステナビリティ方針)

ふくおかフィナンシャルグループはグループ経営理念に基づく事業活動への取り組みを通じて、「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値の向上」の好循環サイクルを創出し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	環境・社会課題の解決	指標 (KPI)	サステナブルファイナンス累積実行額	指標
社会	○		目標値		経済 (1) ①
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2兆円 (うち環境1兆円)	具体的な取組 経済 (1) オ
経済		多様性の尊重・活用	指標 (KPI)	女性役職者の登用	指標
社会	○		目標値		社会 (1) ③
環境			2023年 (その他の場合) ()年	福岡銀行15.0% 熊本銀行21.0% 十八親和銀行15.0%	具体的な取組 社会 (1) ア
経済			指標 (KPI)		指標
社会			目標値		
環境			(その他の場合) ()年		具体的な取組

記載について

- 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野 (経済・社会・環境) の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社福岡銀行北九州本部

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
8 地域コミュニティ活動への参加	わっしょい百万夏まつりや小倉イルミネーションなどの地域コミュニティ活動へ参加している。
9 北九州マラソン事業（ボランティア活動）	北九州マラソンが、より安全・安心な大会となり、円滑かつ効率的な大会運営が行えるようにランナーへの十分なサポートを行う。
10 北九州マラソン事業（エイド（給食）協賛）	ランナーにエネルギーや水分補給をしていただくため、コース上のエイドステーションにおいてフィジカルスタンスを確保しながら給水・給食を提供する。
7 北九州イクボス同盟	「働きやすいまち北九州」の実現に向けて設立した、企業・団体のトップによる「北九州イクボス同盟」に加入している。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。